

## 桐生市立広沢小学校で取り組む放課後子ども教室 ～わたらせちやうすルーム～

### ・放課後子ども教室の概要

「地域社会の中で、子どもが安全安心で健やかな居場所づくり」を推進するため、学校の空き教室等を活用し、保護者や地域のボランティアさんの協力を得ながら、放課後に宿題や自主勉強、昔の遊び、スポーツ・文化などの体験活動を行う。

### ・放課後子ども教室の効果・成果

- 参加している児童一人ひとりが喜んで参加しているので、ボランティアとして嬉しい。
- 児童とボランティアとの触れ合いから、児童一人ひとりの豊かな心を育む一助となっている。
- ボランティア活動をボランティア自身楽しんで取り組めており、ボランティアにとって正に生涯学習の取組となっている。
- ボランティア相互が事前に活動の内容等の確認を行っているが、ボランティア自身の持ち味が活かされた活動となっており、ボランティアの生きがいづくりに寄与している。

### ・活動名

地域ボランティアによる学習支援及び体験活動

・参加児童数：15名（1・2年生）

・地域コーディネーター：1名 地域人材（ボランティア）：6名

### ・活動の特徴・工夫

- 1・2年生の子ども達を対象に、放課後児童クラブ（学童）との連携を重視している。
- 学習（宿題）だけでなく、限られた時間の中で、様々な活動も取り入れている。
- 地域コーディネーターが、中心となりボランティアの方々との連携をとり日々の活動を実施している。活動内容は、事前の打ち合わせで、ボランティアの方から提案され、季節行事なども意識しながら行っている。
- 子ども達との人間関係を築くため、お互いを名前で呼べるよう意識して活動している。



## 板倉町中央公民館（土曜日の教育活動国庫補助事業）

### ～公民館にあつまろう～

#### ・「公民館に集まろう」概要

「家庭学習のすすめ」の一環で、小中学生に自主学習の場所として、公民館を開放し、基礎学力と学習習慣の効果的な推進を図り、学力向上をねらっている。また、地域住民の知識や技術を活かした体験活動を実施している。

#### ・「公民館に集まろう」効果・成果

- 子ども達が現役の教諭に一对一で勉強をみてもらえる環境は、保護者の方々に好評である。
- 体験教室では、地域の方や公民館利用団体を講師として活用している。

#### ・活動名

学習支援 絵手紙体験

・参加児童数：20名（中学生1名含む）

・地域コーディネーター：1名

地域人材（ボランティア）：学習支援2名・絵手紙体験5名

#### ・活動の特徴・工夫

- 学習支援については、地域で協力していただける人材を中央公民館で、広報の活用や学校へも協力を依頼し募集している。今回は、教員OBの方と、現役の板倉西小学校教諭の方の協力があった。



- 体験活動では、中央公民館のサークル団体の一つである絵手紙教室の方が、5名程度講師として、絵手紙教室を進めていた。祖父母世代の方々が、かわいい孫に接するような雰囲気、子ども達はたくさん褒めていただいている様子が印象的であった。



## 明和町立明和西小学校で取り組む放課後子ども教室

### ～あくしゅ～

#### ・放課後子ども教室の概要

余裕教室等を利用して活動拠点を設け、文化活動や地域住民との交流活動等に取り組むことを目的として西小「あくしゅ」、東小「あおぞら」放課後子ども教室が開設されている。

#### ・放課後子ども教室の効果・成果

子どもたちが放課後に安全・安心でいられる居場所を提供するとともに、生活・学習・体育・図工・伝統文化継承など、多方面にわたる学習活動を実施することができている。

#### ・活動名

ハロウィンの飾りの製作等

・参加児童数：89名

・地域コーディネーター：1名 地域人材（ボランティア）：2名

#### ・活動の特徴・工夫

- 密を避けるため、週3回の教室実施を地区別に分け1回の参加者が約40名弱となるよう実施している。
- 生活習慣の定着を図るため、教室に帰ってきたらまず宿題から行わせている。
- 帰宅させる前には、心を落ち着かせることを目的に必ず読み聞かせを実施している。
- 異年齢集団での活動を取り入れ、子どもたちの縦の良い人間関係を作れるよう意識している。



## 千代田町立千代田西小学校で取り組む放課後子ども教室

### ・放課後子ども教室の概要

放課後の安全で安心な活動拠点において、子ども達が「生きる力」を身に付けるため、地域住民の方々の参加を得ながら、学習・遊び・体験活動・スポーツ等の機会を提供している。

### ・放課後子ども教室の効果・成果

- 千代田町では英語特区を実施しているため、月1回行っている英語スピーチについて、子ども達が関心を持ってきている。
- 例年、子ども達は異年齢との交流に慣れ親しんでいるが、今年はコロナ禍であるため、お互いが触れ合わない交流でも順応している。

### ・活動名

絵手紙

・参加児童数：36名

・地域学校協働活動支援員：5名 地域人材（サポーター）：西小2名 東1名

### ・活動の特徴・工夫

- コロナ対策として、手作りの仕切り版を準備し、個人のスペースを確保している。
- 宿題などの常時活動に加えて、計画的に体験活動・スポーツ等を各種団体と協力して実施している。
- 図書室を開設場所とし、活動場所を図工室や体育館など内容に応じて使用できる環境にある。
- 学校との連携も良く、情報交換もしながら進められている。
- 児童館などの職員とも情報共有しながら活動の充実に努めている。

